

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 4月 1日

事業所名 発達支援ルームゆあーず門真

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	・専門性のある職員を配置しています	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	・毎日、掃除と設備点検は行っています	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	・毎回の療育後に担当職員がフィードバックを行い、それについて全員の職員で話し合い次の支援につなげています	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・月1回のミーティングにて職員で共有しています	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・保護者に療育している姿を見てもらったり、保護者がいない場合は、療育内容を伝えたり、動画を見て説明を行ったりしています	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・法人内、事業所内年にて研修を行っています	・外部研修への参加を積極的に行っていきます
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・園の様子や、普段の様子など保護者にアセスメントし、職員間で話し合ってから計画を作成しています	・家庭や園など環境を踏まえて考えて支援継続していきます
適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	・独自で作成したツールを使用しています	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	・療育後の職員間でのフィードバックを徹底しています	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・ミーティングや療育前にも必ず注意点や目的など話し合ってから行っています	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・ミーティングや療育前にも必ず注意点や目的など話し合っています	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	16	100%	0%	・ペア療育は子どもを見て組み合わせを考えています	
	17	100%	0%	・必ず利用者の特性や前回の状況を共有し、支援内容を決めています	・保護者対応や子どもの様子など職員間で共有し、その時々で連携を継続していきます
	18	100%	0%	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	
	19	100%	0%	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	
	20	100%	0%	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	
関係機関や保護者との連携	21	100%	0%	・いつでも情報提供できるように職員間で周知しています	
	22	100%	0%	・関係機関と連携する大切さを契約時に話しています	
	23	0%	100%		
	24	0%	100%		・現在、該当児童の在籍がありません
	25	100%	0%		・ケース会議に参加しています
	26	100%	0%	・依頼があったり、必要だと感じたらこちらからお願いして、保護者の了解を得たうえで、情報提供させて頂いています	
	27	100%	0%	・情報収集のため定期的に行われる連絡会には必ず参加させて頂いています	
	28	0%	100%		・個別療育で、保護者も求めているので、予定はありません
	29	0%	100%		・依頼があれば是非参加したいです
	30	100%	0%	・保護者が来所される時は、現状の様子などを聞き取りさせて頂いています	
	31	0%	100%		・職員の対応や声掛けなど療育を見てもらい、関わり方の参考にしてもらえようように努めています
	32	100%	0%	・初回の契約時に、説明しています	
	33	100%	0%	・契約時に、保護者に対して“ゆあーずでのねらい”等の趣旨説明を行い、その後作成した計画に含まれていることを伝え、計画の同意を得ています	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・保護者が、子どもの療育を見学しながら、職員とお話できる環境作りを行っています	・寄り添うことを意識し、一緒に考える観点でお話しています
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		・保護者会を望まれるか方が少ないと思いますが、一度アンケートと取るなど検討していきます
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・利用日でなくても話を聞けるよう、態勢を整えています	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0%	100%		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・相手の状況に合わせて、メールや直接でのやり取り等を行っています	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	・個人情報の兼ね合いもあるので、現在は考えておりません	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	33%	67%	・大阪府よりの案内や感染対策がわかるように等、張り出しています	・職員への周知徹底できるように、委員会活動を取り入れています
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・定期的に避難のシミュレーションは行っています	・訓練の内容について、台本を作り取り組んでいます
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	・アセスメントシートを元に、職員全員で周知しています	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	100%		・食事提供は行っておりません
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	・事案発生時に速やかに報告し、情報共有の上、再発防止に努めています	・ヒヤリハットを記録しています
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・毎年、大阪府の研修を受け、事業所内で周知するようにしています	・委員会の運営を継続していきます
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	・現時点で、実績はないです	・身体拘束の指針を周知していきます

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。